



# A Quick Guide to: **Office Safety**

**MONTHLY  
SAFETY  
BRIEF**  
April 2003



事務処理を行う職場は通常他のどんな仕事場よりも安全な場所です。しかしながら、そんな中にも病気や怪我を引き起こすような危険が沢山潜んでいます。以下のような状況、物及び器材は病気や怪我を引き起こす原因になる可能性があります。



**転落事故** — 配線や電話線、起きっぱなしの荷物や書類、開けっ放しのままのファイルキャビネットなどによって起こる事故。

**腰痛、腰の怪我や事故** — 間違った方法および知識での荷物の上げ下げ。一人で無理に重い荷物を扱う事によって起こる事故および怪我。

**転落事故** — 高い所にある物を取るときに、はしご脚立以外の物で代用し、転落して怪我をする場合。



## ファイリングキャビネットによる事故

— ファイルがたくさん詰まり、重い状態になったファイルキャビネットの上段の引き出しを開けっぱなしにしていたことから起こる、キャビネットが倒れ掛かる事故や、キャビネットの下段の引き出しが

開けっ放しになっていたことをつまづいて起こる転倒事故があります。



**感電事故** — アースのとれていない電化製品の使用や、すり減ったコードの使用により起こる事故。



**薬品の事故** — 接着剤、溶剤、トナー、洗剤など身近な化学薬品によって起こる事故。

**コンピューターによる事故** — 腱鞘炎や眼精疲労、首や肩の疲れや痛み、腰痛

